

第19回日韓アジア未来フォーラム  
**「岐路に立つ日韓関係：これからどうすればいいか」**  
開催日時：2021年5月29日(土)14:00~16:20  
開催方法：Zoom Webinar  
開催言語：日本語・韓国語(同時通訳)

**講演者**  
小北本 政夫 (慶応義塾大学名誉教授)  
<コメンタ> 沈 鏡先 (ソウル大学日本研究所長兼研究員)  
李 元源 (国民大学教授)  
<コメンタ> 伊集院 敏 (日本経済研究センター首席研究員)

**討論者**  
金 志英 (漢陽大学教授)  
小針 暹 (静岡国立大学教授)  
西野 純也 (慶応義塾大学教授)  
朴 宗澤 (国民大学教授)

**プログラム**  
第1部 講演とコメント  
第2部 自由討論  
講演者と討論者の自由討論  
第3部 質疑応答  
Zoom ウェビナーのQ&A機能を使い  
質問やコメントを質疑者より受け付ける

主催：  
渥美国際交流財団グローバル研究会  
[SGRA] (日本)  
共催：  
未来人力研究院 (韓国)  
問い合わせ：  
SGRA事務局 sgra@eisf.or.jp  
+81-(0)3-3943-7612  
参加申込：参加無料  
下のQRコードよりお申し込みいただけます





日韓関係における歴史的な下、日米韓の三角協力の発展可能性  
がいわれて久しいが、依然として関係改善の見込みはない。これ  
からどうすればいいか、果たして現状を打開するためには何をすべ  
るのか、政府は何をすべきで、日韓関係の研究者には何ができる  
か、本フォーラムでは日韓関係の専門家を招き、これらの問題につ  
いて胸襟を開いて議論する。日韓の基礎報告をベースに討論と質  
疑応答を行う。

## 第 19 回日韓アジア未来フォーラム

# 岐路に立つ日韓関係 これからどうすればいいか

## 当日の写真

日 時：2021年5月29日(土)14:00~16:20

会 場：渥美財団ホール(日本)

未来人力研究院(韓国)

Zoom Webinar

## 開会



未来人力研究院（韓国）にいらっしゃる金雄熙先生（仁荷大学教授・1996年度奨学生）の総合司会のもと、今西常務理事による開会ご挨拶でスタート。

昨年新型コロナウイルスの流行で延期となった第19回日韓アジア未来フォーラム。今年はソウルの未来人力研究院と東京の渥美財団にはそれぞれ講師の先生方をお招きし、コメントと指定討論の先生方にはZoom Webinar上でオンラインでご参加いただくハイブリット式で無事開催することができました。

同フォーラムとしては初めてのオンラインウェビナー形式での開催となり、これまでで最も多い86名の方にご参加いただきました。



# 第1部 講演とコメント

**岐路に立つ日韓関係：  
これからどうすればいいか－韓国の立場から**

**기로에 선 한일관계：  
무엇을 할 것인가 - 한국의 입장**

李元徳(イ・ウオンドク)  
国民大学 教授



**3. 日韓関係悪化の構造的背景 韓日関係 악화의 구조적 배경**

- 1) 北東アジアにおける国際秩序の変動(パワーラングション)：東中の戦略競争(覇権競争)の熾烈化における日韓スタンスの違い
- 2) 日韓関係が垂直的関係から水平的な関係へ変化
- 3) 両国のエリート同士のネットワークにおける質的変化
- 4) 日韓経済の相互依存低下：貿易、金融、産業技術

- 1) 동북아 국제질서의 전환(Power Transition)：미중의 전략경쟁(패권경쟁)의 격화에 대한 한일의 대응 차이
- 2) 한일관계가 수직적 관계에서 수평적 관계로 전환
- 한일 GDP의 추이：1965년・1대 30/ 1990년・1대10/ 2010년・1대6 /2020년 1대3
- 3) 한일 정경 엘리트 간 네트워크：질적으로 변화
- 4) 한일 경제의 상호 의존 저하：무역, 금융, 산업기술

**5. 日韓関係悪化の要因 韓日관계 악화의 요인(4)**

4) 戰略認識のずれが大きい

日本

- FOIP(自由で開かれたインド太平洋)戦略, QUAD重視外交
- 対米同盟中心の「中国包圍網」形成において韓国は曖昧なスタンス
- 「自由民主主義と市場経済の価値を共有」、「戦略的に重要な隣国」などの表現が政府文書から失脚

4) 전략적 인식의 상이

일본: 인도-태평양 전략

- FOIP(자유롭고 열린 인도 태평양) 전략, QUAD 중시외교
- 대미동맹 중심의 중국포위망 형성에서 한국은 애매한 존재
- "자유민주주의, 시장경제의 가치를 공유", "전략적으로 중요한 근린국가"라는 표현은 정부문서에서 실종, 약화됨

「多層的・多元的協力」に向けた様々な枠組み

「有志連合」的な新たな枠組み ～国連、WTOなどの補完

- FDIIP, クラッド
- 「D10(民主・人権)」 「T12(テクノデモクラシー)」……
- サプライチェーン、先端研究開発、新分野のルール形成

東アジア連携強化の枠組み ～対中関与継続と分断の悪影響回避

- 日中韓協力拡大、投資協定バージョンアップ、FTAなど
- RCEP(地域的な包括的経済連携協定)のバージョンアップ
- 大國門江イニシアチブ(GTI: Greater Tumen Initiative) 活用
- 北朝鮮政策をめぐる調整
- 日中韓政策調整委員会(TGOC)の復活? も九国協議は?

米韓首脳共同声明(5/21)のポイント

- 鉄壁の同盟に再コミット、地域と世界の秩序の要として機能
- 朝鮮半島の完全な非核化、国連決議の完全実施
- 北との首脳合意に基づく外交と対話、米は南北対話・協力支持
- 米韓日3カ国協力の根本的な重要性を強調
- 米のFOIPビジョンと韓国の新南方政策の連携に努力
- クラッドを含む地域多国間主義の重要性を認識
- 台湾海峡の平和と安定の重要性を強調
- 気候、保健、新興技術、サプライチェーン等パートナーシップ
- 外国投資審査、技術輸出管理の重要性、最先端半導体製造協力



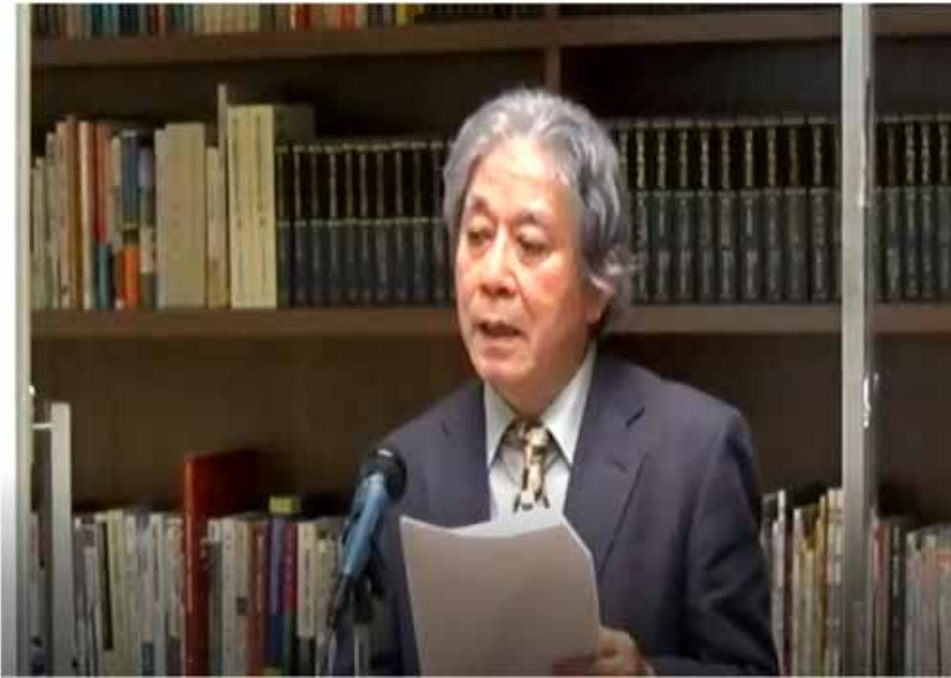
李元徳教授の講演へのコメント

2021年5月29日  
第19回日韓アジア未来フォーラム  
日本経済研究センター  
伊集院敦

まず李元徳先生(国民大学教授・写真上)に「岐路に立つ日韓関係これからどうすればいいか－韓国の立場から」についてご講演をいただき、その後、伊集院敦先生(日本経済研究センター首席研究員・写真下)よりコメントをいただきました。



## 第1部 講演とコメント

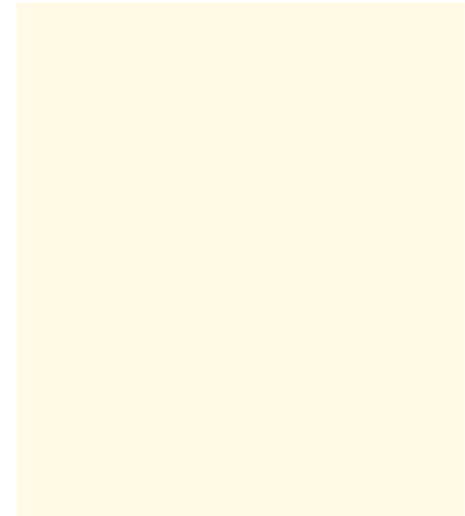


引き続き小此木政夫先生（慶応義塾大学名誉教授・写真上）に「岐路に立つ日韓関係これからどうすればいいか-日本の立場から」についてご講演をいただき、その後、沈揆先生（ソウル大学日本研究所客員研究員・写真右）にコメントをいただきました。

渥美財団には公開視聴者として、韓京子さん（2005年度）、尹在彦さん（2020年度）、李貞善さん（2021年度）、曹有敬さん（2021年度）にご参加いただきました。



## 第2部 自由討論（前半）



指定討論の4名の先生方、金志英先生（漢陽大学副教授・写真左上）、西野純也先生（慶応義塾大学教授・写真右上）、小針進先生（静岡県立大学教授・写真左下）、朴栄濬先生（国防大学教授写真右下）に第1部の講演内容に対しコメントをいただきました。

## 第2部 自由討論（後半）



後半は、金雄熙先生の司会の元、全ての先生方にご参加いただき自由討論の形で議論が進みました。



### 第3部 質疑応答



質疑応答は金崇培先生（忠南大学招聘教授・写真右上）の進行の元、  
視聴者より寄せられた質問やコメントに先生方へお答えいただく形で進みました。

## 閉会



徐載鎮先生（未来人力研究院院長・写真右上）より閉会のお言葉をいただき、最後に今西常務理事より参加いただいた先生方、同時通訳、同時翻訳、テクニカルサポートの方々への謝辞で閉会となりました。



ご参加いただきました  
皆さま  
ありがとうございました。